

## 児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2022年 3月 1日

保護者等数 38名 回収数 19名 50 %

事業所名:リハビリ発達支援ルーム UTキッズplus

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	一人ひとりが安心して活動できるスペースを確保し、支援を行っています。	はい 18人	どちらとも いいない 1人	いいえ 0人	<p>広々としたスペースで、色々な動きが楽しく出来るようにしていただいています。</p> <p>広々としていて大きい遊具もあり、自由に体を動かせる。</p> <p>⇒今後も安全面に配慮しながら、十分に身体を動かすことができるよう支援を行っていきます。</p>
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	配置基準の職員配置を行っています。引き続き専門性を高めていけるように職員間で情報共有・研修会の実施をしていきます。	はい 15人	どちらとも いいない 3人	いいえ 1人	<p>毎回終わりのミーティングで、その日の様子を教えていただいで分かりやすいです。相談もしやすいです。</p> <p>どの先生が何の資格を持っているのか分からない。</p> <p>スタッフの方がどんな資格を持ち、どんな専門性があるのか、把握する術がない。もしかしたら、なんの資格もない、専門性もない方もいるかもしれない。そうであれば、不安です。</p> <p>いつも手厚く見てくれる。</p> <p>⇒現在、児童発達支援管理責任者・管理者、言語聴覚士、保育士、作業療法士(非常勤)で支援をさせていただいています。全スタッフが感覚統合療法理論を基礎に専門性を活かした療育を行っています。</p>
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	療育室内はバリアフリー化していますがエレベーターはなく、階段移動となっています。手すりもありますが保護者様に気をつけて頂く形となっています。	はい 10人	どちらとも いいない 6人	いいえ 3人	<p>階段のみなので、配慮は無いと思います。</p> <p>手すり等はあるが、移動が階段のみしかない。ただ建物の構造上仕方ないと思う。</p> <p>階段がある。</p> <p>⇒構造上の問題でエレベーター設置が難しく、階段での移動となっています。保護者の方に注意していただけるように促しています。</p>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	相談支援員との連携、家庭や学校等の様子や生活環境を保護者の方にお聞きし、計画書の作成をさせて頂いています。	はい 17人	どちらとも いえ ない 2人	いいえ 0人	
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	「遊び」を通して発達ニーズに応じた支援を提供しています。利用児の好きな遊びなどを用いながら様々なプログラムを提供しています。	はい 16人	どちらとも いえ ない 3人	いいえ 0人	子供の成長に合わせて定期的にプログラムを更新して下さります。 ⇒引き続き、一人ひとりのニーズに合わせた遊びプログラムの提供に努めていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在交流会の機会は設けていません。	はい 1人	どちらとも いえ ない 6人	いいえ 12人	参加したことがないので、分かりません。 そんな機会はないが、ここでは、その必要は無いと思います。 ⇒保護者の方からのニーズがあれば、検討を行っていきたいと思います。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	利用開始前に支援内容・負担額については説明しています。不明点があれば随時確認して頂くようお願いしています。	はい 18人	どちらとも いえ ない 0人	いいえ 1人	日数を超えないように気をつけて欲しい。 ⇒ご利用日数の管理は、保護者の方をお願いしております。予約時点で契約日数を超過する場合は、一人ずつお声掛けをさせていただいています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	状況を共有することができるように、支援終了後に時間を作っています。お悩みやご相談等あれば「事業所内相談」で受付させていただいています。	はい 18人	どちらとも いえ ない 1人	いいえ 0人	どの先生方も、よく見ていただいています。子供がやる気を出す言い方を教えてくださいるので参考にしています。 ⇒今後も子どもたちや保護者の方のニーズを十分把握し、充実した療育内容となるように努めていきます。
	9 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングという形では行えていませんが、療育後の振り返り時ご自宅で行える工夫などをお伝えできるように努めています。	/			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明等	10 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	支援時間やご利用日以外でもご相談させていただく時間を作っています。	はい 15人	どちらとも いいない 3人	いいえ 1人	相談をよく聞いてくださります。 行われているが、1コマ分請求しますね。とその度言われると、お金お金と言われているみたいで、げんなりする。 お金を払わないと相談に乗ってくれないのかと感じてしまう。 ⇒加算が発生する場合には、あらかじめ保護者の方の同意が必要になるため、その都度ご確認させていただいています。困りごとがあれば気軽に相談できるように努めていきます。
	11 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	年長児のご利用者様対象で、就学前相談会を実施しました。 新型コロナウイルスの影響もあり、年長児のご利用者様のみ声掛けをさせていただきました。	はい 5人	どちらとも いいない 6人	いいえ 8人	参加した事がないので、分かりません。 そういう会を開催された事は無いし、連携もない。 ⇒今後も経験談や相談ができる機会を設けていけるように努めていきます。
	12 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	契約の際、重要事項説明書にて苦情窓口の説明をしています。疑問点やご意見、ご相談等あった際は、その都度迅速な対応を心がけています。	はい 16人	どちらとも いいない 3人	いいえ 0人	
	13 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	利用児の特性や状況に合わせ、視覚情報による伝達を行っています。保護者には支援後の振り返り時間や文書、電話連絡など情報伝達漏れのないよう努めています。	はい 16人	どちらとも いいない 2人	いいえ 1人	日程を決めるので、また折り返しお電話します。と言いながら、かかってこない。こちらからかけ直すと、折り返すと 言った事を、ご本人がすっかり忘れておられた。日常的にも伝え忘れをされる事があるので、大丈夫かなと不安です。 ⇒職員間の報告・連絡・相談を徹底していけるように工夫し、伝達の漏れがないように努めていきます。また、職員一人ひとりが自分の言葉に責任をもち、対応できるように努めていきます。
	14 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	活動概要はブログを通じて行っています。また、予定等の連絡事項は文書で一人ひとりに伝達しています。自己評価はホームページで公開しています。	はい 15人	どちらとも いいない 3人	いいえ 1人	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	15 個人情報に十分注意しているか	保護者の方に個人情報同意書、撮影同意書の承諾を得ています。また、個人情報ファイルは鍵付きの棚に保管しています。	はい 18人	どちらとも いいない 1人	いいえ 0人	
非常時等の対応	16 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを使い研修を行っています。また、避難訓練実施後は報告書を作成し保護者室に掲示しています。	はい 13人	どちらとも いいない 5人	いいえ 1人	LINEやメールで、説明、周知されたいのになあと思います。 ⇒マニュアルの作成はしています。 契約面談での説明に加え、事業所での掲示をし、いつでも閲覧できるようにしていきます。
	17 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	年3回(火災・地震・防犯)職員が避難訓練を行っています。契約時に、重要事項説明書でご説明しています。	はい 15人	どちらとも いいない 4人	いいえ 0人	
	18 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	県主催の虐待防止研修に参加し、定期的に事業所内研修会を行っています。	/			
	19 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ご利用前「重要事項説明書」にて説明しています。身体拘束と思われる事案の有無について毎日確認しています。やむを得ない状況が発生した場合には、計画書への反映と十分な説明を行っていきます。	/			
	20 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の提供はないため、実施していません。集団療育やイベント等で飲食を提供する場合は、保護者の方にアレルギーの確認をしています。	/			

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	21	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	発生した場合は、報告書を作成し職員間で共有し、未然に防ぐ努力をしています。また安全管理委員会により、各事業所のヒヤリハットを統計、データ化しています。	/			
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	個々の発達段階に合わせた課題、友達と協力して取り組む課題を取り入れて支援を行っています。その中でたくさんの「できた」を実感し、自信をもって様々なことにチャレンジしていくことができるよう支援していきます。	はい 19人	どちらとも いえ 0人	いいえ 0人	いつも楽しみにしています。 毎週UTの帰りはルンルン。保育所も機嫌よく行きます。 ⇒引き続き、遊びの中でしっかり身体を動かし、「できた」や「楽しい」を積み重ねることで個々の力を育んでいきます。楽しんで通所してもらえるよう療育内容を工夫していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	当事業所は、困り感軽減を目的とせず、困り感軽減の見通し(困り感の背景と支援方法)をつけていただくことを目的としています。困り感軽減のためには、事業所支援だけではなく家庭・環境支援も必要と考え、ホームプログラムの提案、保育所等訪問支援を実施しています。	はい 17人	どちらとも いえ 1人	いいえ 1人	どちらかと言うと、ハイでは無い。 ⇒子どもたちや保護者の方に満足、安心してご利用していただけるように、職員の知識・技術の向上を目指すとともに一人ひとりに寄り添う支援を大切に進めていきます。

## 放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2022年 3月 1日

保護者等数 87名 回収数 25名 29 %

事業所名: リハビリ発達支援ルーム UTキッズplus

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	一人ひとりが安心して活動できるスペースを確保し支援を行っています。	はい 23人	どちらとも いいない 1人	いいえ 0人	療育内容によっては、一部屋に二人は狭さを感じる。どちらかが、我慢せざるをえない状況にならないようにしてほしい。(2階) 利用者である子どもからの意見ですが 床の汚れが気になるようです。 ⇒支援内容などを工夫しながら、安全面に配慮しながら、十分に身体を動かすことができるよう支援を行ってまいります。感染症予防も含め、衛生面の配慮にも努めてまいります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	配置基準の職員配置を行っています。引き続き専門性を高めていけるように職員間で情報共有・研修会の実施をしています。	はい 20人	どちらとも いいない 4人	いいえ 0人	すぐ答えてくれる先生と、確認を取る先生がいらっしゃるのでは。偏りがあるのかと思う。 専門性は保護者にはわかりません。 待ち合い場所を間違った時に迷惑そうな態度をとられるスタッフがいたので、気をつけていただきたい。 ⇒各職員が同じ対応ができるように、職員間の報連相を徹底するとともに専門性を高め、子どもたちや保護者の方に還元できるようにしていきます。

適切な支援の提供	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	手すり等は設置していませんが、段差なく療育室へと入室できるようになっています。	はい 13人	どちらとも いえない 9人	いいえ 2人	階段しかないので、小さい子どもさんや泣いている子どもをだっこした保護者を見ると、大変だなと感じることがある。 手すりはあるがエレベーターがないのでバリアフリーとは言いにくい。  ⇒構造上の問題でエレベーター設置が難しく、階段での移動となっています。保護者の方に注意していただけるように促しています。
	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	相談支援員との連携、家庭や学校等の様子や生活環境を保護者の方にお聞きし、計画書の作成をさせて頂いています。	はい 22人	どちらとも いえない 2人	いいえ 0人	
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	利用児の得意なことや興味関心があること等を活動に取り入れ、強みを活かした支援を実施しています。その中で成功体験を積み上げながら自信をもって、いろいろなことにチャレンジすることができるよう支援しています。	はい 21人	どちらとも いえない 3人	いいえ 0人	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在交流会の機会は設けていません。	はい 0人	どちらとも いえない 10人	いいえ 14人	わからない。そうゆう目的の事業所ではないと思う。されているのかがわからない。  ⇒保護者の方からのニーズがあれば、検討を行っていきたいと思います。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	利用開始前に支援内容・負担額については説明しています。不明点があれば随時確認して頂くようお願いしています。	はい 23人	どちらとも いえない 1人	いいえ 0人	説明は聞いたが改定されることが多いので、わからなくなる。  ⇒改定時だけでなく資料をまとめ、待合室に配置し確認して頂けるようにします。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	状況を共有することができるように、支援終了後に時間を作っています。お悩みやご相談等あれば「事業所内相談」で受付させて頂いています。	はい 22人	どちらとも いえない 2人	いいえ 0人	

保護者への説明等	9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングという形では行えていませんが、療育後の振り返り時ご自宅でできる工夫などをお伝えできるように努めています。	/			
	10	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	支援時間やご利用日以外でもご相談させていただく時間を作っています。	はい 17人	どちらとも いえない 6人	いいえ 1人	
	11	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は実施していません。	はい 10人	どちらとも いえない 7人	いいえ 7人	コロナ禍もあり、経験がない。 ⇒新型コロナウイルス感染症の拡大につき、現状できていませんが、今後は企画していきたいと考えています。
	12	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	契約の際、重要事項説明書にて苦情窓口の説明をしています。疑問点やご意見、ご相談等あった際は、その都度迅速な対応を心がけています。	はい 17人	どちらとも いえない 7人	いいえ 0人	苦情がきていても聞いていないので、わからない。 苦情を申し立てたことがないのでわからない。 されているのかがわからない。 ⇒疑問点、ご意見、ご相談等ございましたら、その都度迅速な対応を心がけていきます。
	13	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	利用児の特性や状況に合わせ、視覚情報による伝達を行っています。保護者には支援後の振り返り時間や文書、電話連絡など情報伝達漏れのないよう努めています。	はい 21人	どちらとも いえない 3人	いいえ 0人	
	14	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	活動概要はブログを通じて行っています。また、予定等の連絡事項は文書で一人ひとりに伝達しています。自己評価はホームページで公開しています。	はい 18人	どちらとも いえない 6人	いいえ 0人	

	15	個人情報に十分注意しているか	保護者の方に個人情報同意書、撮影同意書の承諾を得ています。また、個人情報ファイルは鍵付きの棚に保管しています。	はい 21人	どちらとも いけない 3人	いいえ 0人	
非常時等の対応	16	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを使い研修を行っています。また、避難訓練実施後は報告書を作成し保護者室に掲示しています。	はい 15人	どちらとも いけない 9人	いいえ 0人	気づいていないだけかもしれないが、マニュアルをみたことがない。 ⇒マニュアルの作成はしています。契約面談での説明に加え事業所内に掲示を行い、いつでも閲覧できるようにしていきます。
	17	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	年3回(火災・地震・防犯)職員が避難訓練を行っています。契約時に、重要事項説明書でご説明しています。	はい 19人	どちらとも いけない 4人	いいえ 1人	
	18	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	県主催の虐待防止研修に参加し、定期的に事業所内研修会を行っています。	/			
	19	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ご利用前「重要事項説明書」にて説明しています。身体拘束と思われる事案の有無について毎日確認しています。やむを得ない状況が発生した場合には、計画書への反映と十分な説明を行っています。	/			
	20	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の提供はないため、実施していません。集団療育やイベント等で飲食を提供する場合は、保護者の方にアレルギーの確認をしています。	/			

	21	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	発生した場合は、報告書を作成し職員間で共有し、未然に防ぐ努力をしています。また安全管理委員会により、各事業所のヒヤリハットを統計、データー化しています。	/			
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	当事業所は、子どもたちの得意を伸ばすことややりたい気持ちを伸ばすこと、自尊心を高めることなど幅広い視点を養うことを目的としています。自分で考えて作り出すPDCAサイクルを用いながら支援を行っています。	はい 22人	どちらとも いえ ない 2人	いいえ 0人	
	23	事業所の支援に満足しているか		はい 21人	どちらとも いえ ない 3人	いいえ 0人	お出かけするようなイベントがあっても良いと思う ⇒新型コロナウイルス感染症拡大につき、現状できていませんが、今後は企画していきたいと考えています。 子どもたちや保護者の方に満足、安心して利用していただけるよう、職員の専門性等さらなる質の向上に努めていきます。